

全建発20～035号  
平成20年5月2日

社団法人 全日本建設技術協会  
会長職務代行 宮原 諄



### 第538回建設技術講習会（環境の保全・建設リサイクルの推進）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約8万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、時代の要請に応えるべく、成果重視の施策の展開、公共事業の効率性・透明性の確保、品質確保と入札契約の適正化を図ることを求められるとともに、また、都市・地域再生、環境対策、自然災害対策など、多くの重要な課題をかかえており、これらに対処するために、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第538回建設技術講習会では、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、環境に係る現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進、建設副産物のリサイクル新技術など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第19～276号  
平成19年12月14日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
研修委員長 前川 秀和  
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



## 平成20年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、時代の要請に応えるべく成果重視の施策の展開、公共事業の効率性・透明性の確保及び品質確保と入札契約の適正化を図るとともに、地域活力の維持向上に向けた地域再生・都市再生の推進、少子化・高齢化等への対応、環境対策、自然災害対策、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成20年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長職務代行 宮原 諒



## 第538回建設技術講習会（環境の保全・建設リサイクルの推進）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成20年7月16日（水）～18日（金）、札幌市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、環境に係る現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進、建設副産物のリサイクル新技術など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、北海道・札幌市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,000円〔昼食の斡旋なし〕  
正会員（地元〔北海道内〕）..... 1,500円〔 〃 〕  
非会員..... 14,000円〔 〃 〕  
「正会員（地元）」とは、開催地（北海道）内に勤務の「正会員」のみ  
聴講のみの参加は可能です

現場研修料：..... 6,500円〔うち昼食代1,200円〕  
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全  
建事務局までお申し込み下さい。  
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル 7F  
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No. 0311142  
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会  
お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数「538」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成20年6月20日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

### 【返金方法】

平成20年7月4日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成20年7月11日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡します。  
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定講習会として単位が取得  
できます。（会場で継続学習制度（CPDS）についての案内を配布します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

主催：(社)全日本建設技術協会、北海道(予定) 札幌市(予定) 後援：国土交通省

## 第 538 回建設技術講習会 日程 (環境の保全・建設リサイクルの推進)

～環境の保全、循環型社会構築に向けたゼロエミッションの実現～

- 公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、環境に係る現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な適用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R(発生抑制、再使用、再資源化)の推進、建設副産物のリサイクル新技術など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得る-

会場..... 共済ホール(共済ビル6F)  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西一丁目 TEL 011-251-7333

1日目 平成20年7月16日(水)		敬称略
10:00	あいさつ	国土交通省北海道開発局長 鈴木 英一
10:20	”	北海道知事 高橋 はるみ
10:20	”	札幌市長 上田 文雄
10:20	建設リサイクルに関する今後の動向	国土交通省総合政策局事業総括調整官室 建設副産物企画官 野田 勝
11:50		
13:00	不法投棄の構造と産業廃棄物処理業 優良化推進事業の公開データ活用方法	千葉県県土整備部道路環境課 主幹(元千葉県産廃Gメン) 石渡 正佳
14:30		
14:40	【特別講演】 「シーニックバイウエイ北海道」の 取り組みについて	有限責任中間法人 シーニックバイウエイ支援センター 理事 原 文宏
15:40		
15:50	【地域事業の紹介】 真駒内川における河川環境の回復について	北海道札幌土木現業所事業部事業課 河川係 主任 寺崎 義規
16:20		
16:20	【地域事業の紹介】 札幌市水道記念館について	(財)札幌市水道サービス協会 札幌市水道記念館 館長 小川 勝彦
16:50		
2日目 7月17日(木)		敬称略
9:40	「港湾環境行政のグリーン化」 最近の取り組みについて	国土交通省港湾局国際・環境課 課長補佐 酒井 浩二
10:40		
10:50	景観法の制度活用を通じた景観形成の 取り組み	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 景観室 課長補佐 脇坂 隆一
11:50		
13:00	河川環境の整備と保全 ～レビューと課題への取り組み～	国土交通省河川局河川環境課流水管理室 課長補佐 井田 泰蔵
14:00		
14:10	今後の道路環境行政について	国土交通省道路局地方道・環境課 道路環境調査室長 板倉 信一郎
15:10		
15:10	閉会のあいさつ	北海道地区連合会会長 石田 悦一
地域の独自調査		
【現場研修】 3日目 7月18日(金)		

ほくでんビル前〔さっぽろテレビ塔近く〕(8:30) 出発

創成川通連続化事業(車窓説明)

札幌市水道記念館整備事業(下車説明)

真駒内川総合流域防災事業(下車説明)

昼食(札幌市内)

モエレ沼公園造成事業(下車説明)

JR札幌駅(15:00) 着後解散新千歳空港(16:10) 着後解散

解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。  
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定講習会

## 第538回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 創成川通連続化事業 ..... 札幌市中央区大通～北3条、南5条～南2条

本路線は、都心南北交通の主軸であり、また、道路中央に位置する創成川は本市における歴史的遺産であるとともに、シンボリックな南北都市軸となっています。

本市都心部においては、高次な都市機能と快適で魅力ある空間として、交通混雑の緩和や都心空間の有効利用、都心環境の改善などが求められており、それらの一方策として昭和46年に完成した、南アンダーパス(南5条～南2条)と北アンダーパス(大通～北3条)の2つのアンダーパスを結び、連続化を図ります。



### 2 真駒内川総合流域防災事業 ..... 札幌市南区石山

1級河川石狩川水系真駒内川は札幌市の南にある空沼岳を源とし、住宅地を流れ豊平川に合流します。流域面積37.8km<sup>2</sup>、流路延長20.8kmの河川です。

真駒内川は急流であるため、過去に幾度となく大きな被災に見舞われてきましたが、昭和56年の被災を契機に昭和63年より河川改修事業がおこなわれ平成19年度までに4.7km区間が終了しています。

改修事業を進めるにあたり地域の意見を川づくりにも反映させるために真駒内川を考える会を設立し、「ふるさとの川を育もう」をテーマとして、治水安全度の確保だけでなく水辺空間の保全と再生を図るため、サクラマスを指標として、その生活史段階(遡上、産卵、越冬)における生息環境の回復を目的に既設落差工の撤去による河道の連続性の確保、低下等の原因により岩盤化した河床に砂礫を堆積させる試みを行っています。



### 3 札幌市水道記念館整備事業

札幌市中央区伏見

札幌市水道記念館は平成9年(1997年)より休館していましたが、平成19年(2007年)5月26日にリニューアルオープンしました。

新しい水道記念館は、展示室全体で大自然から大都会そして海へと向かう水の旅を表現し、参加・体験をしながら、水道を通して自然環境と人間の関りを考え、水や自然の大切さを感じ取ることができる施設として整備しました。

展示以外にも、ゆったりとくつろぐことのできる「サロン」、水に関する図書などを集めた「水の図書館」、小さなお子さんを遊ばせることのできる「キッズルーム」などを設置しています。

屋外には、札幌市内を見渡すことのできる展望テラスを設置し、水道記念館前の配水池上面を活用した広場スペースの開放も行っています。



### 4 モエレ沼公園造成事業

札幌市東区丘珠町

モエレ沼公園は、札幌の市街地を公園や緑地の帯で包み込もうという、「環状グリーンベルト構想」における北部の拠点公園として計画されました。モエレ沼を含む約189haを公園区域として、平成17年(2005年)夏に全面完成いたしました。

モエレ沼公園は、ゴミ処理場建設の必要に迫られていた清掃事業とあいまって、ゴミ処理場として利用した後、公園造成を行うユニークな事業として整備が始まりました。昭和54年からゴミの埋立てが、昭和57年からは公園の基盤造成が始まり平成2年の処理場閉鎖まで搬入された廃棄物の総量は270万tになります。

なお、昭和63年3月、初めて札幌を訪れた彫刻家イサム・ノグチは、雪の残るモエレ沼の水面と大地、その上に広がる北の空を眺めていました。この公園事業に強い関心を持った同氏の期待に応え、札幌市は公園の設計を委託し、同氏は、「全体をひとつの彫刻とみなした公園」のマスタープランを完成されました。



## 第 538 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には札幌市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送金先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座 1015114

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「538」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル6階）

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

### 取り消し・返金について

平成 20 年 7 月 7 日（月）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 20 年 7 月 8 日（火）～14 日（月）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 20 年 7 月 15 日（火）、16 日（水）、17 日（木）、延泊 18 日（金）（1泊朝食付、サービス料・消費税含む）

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
札幌オークホテル	札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 TEL: 011-222-0511	シングル	30 名	8,700 円
チサンイン札幌	札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 19 番地 TEL: 011-231-8441		30 名	8,500 円
宿泊斡旋人数合計			60 名	

宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図



## 第 538 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ~ E を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」

【往路】7月15日（火）講習会前日の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
A	東京（羽田） 16:25	札幌（千歳） 17:55	JAL535 （日本航空）	25席 18,500円

【往路】7月16日（水）講習会当日朝の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
B	東京（羽田） 7:00	札幌（千歳） 8:30	ANA051 （全日本空輸）	10席 18,500円

【復路】7月17日（木）聴講終了後の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
C	札幌（千歳） 18:30	東京（羽田） 20:05	ANA074 （全日本空輸）	10席 19,500円

【復路】7月18日（金）現場研修終了後の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
D	札幌（千歳） 17:30	東京（羽田） 19:05	ANA072 （全日本空輸）	35席 22,000円

【復路】7月19日（土）現場研修翌日の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
E	札幌（千歳） 15:30	東京（羽田） 17:00	ANA068 （全日本空輸）	15席 20,000円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間300円）旅客施設使用料（羽田1区間100円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約40分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道1席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭乗区間	7/1～7/4 に取消した場合	7/5～7/14 に取消した場合	7/15以降便出発 迄に取消した場合
A～E	札幌（千歳） 東京（羽田）	3,000円	6,000円	9,000円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_ 印  
 (特別・賛助会員名)

第538回建設技術講習会(環境の保全・建設リサイクルの推進)申込書

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただきます。どうか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		現場 研 修	宿泊申込				航空便申込					
(フリガナ) 氏名 <small>(女性の場合は番号に 囲みにして下さい)</small>	年 齢		正 会 員	非 会 員		予約日に 印を 記入して下さい				A~Eを記入					
										往路		復路			
						7月 15日	16日	17日	18日	7月 15日	16日	17日	18日	19日	
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
聴講料					現場研修 の昼食は 不要の申 し出はで きません	宿泊予約金									
正会員・特別会員・賛助会員			名 × 9,000円 =			円	泊 × 4,000円								
正会員(地元)			名 × 1,500円 =			円									
正会員(地元)とは、開催地(北海道)内に勤務の「正会員」															
非会員			名 × 14,000円 =		円	航空便									
						往路									
						復路									
現場研修料			名 × 6,500円 =		円	計									
					円	計									

全建に振込

西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食の斡旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。